

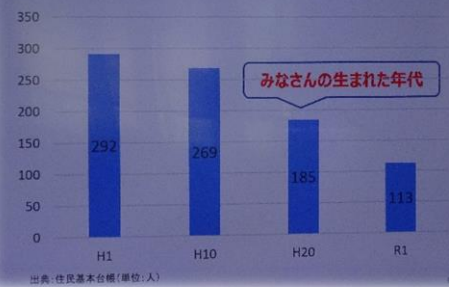
## 広瀬市長さんによる出前講座【6月24日（水）】

この日は、本校6年生児童を対象に、養父市の広瀬栄市長さんによる、「市長出前講座」が行われました。

まず、「東京や大阪などの都会と養父市のような田舎を比較して、どちらが良いか」、「田舎は本当に活気がないか」などの質問がありました。子どもたちは、田舎のイメージに否定的ではなく、最近は田舎でも便利な商業施設や楽しいところもあるという意見を出していました。市長さんからは、新型コロナウイルス感染症が、養父市には出ていない。人口は少ないけど感染する可能性が低いなどの良い面もあるということもお話しされました。



出生数（生まれた子どもの数）の推移



しかし、養父市の課題として、若者の都会への流出により人口減少が起こり、その結果、子どもの数も大変少なくなって、少子高齢化が深刻となっていることも教えていただきました。市長さんは、「この問題をどうしたらいいでしょう？」と児童に課題を投げかけられました。児童からは、「若い人が喜ぶお店や物を作る」、「ネットで養父市の良さを発信する」、「養父市の自然を生かした施設を作って、都会から来てもらう」など、たくさんのアイデアが出ました。これからの若者たちが、養父市を担う人材となって成長してくれることを願いますと、市長さんは微笑みと期待を寄せておられました。今日は、市長さんとともに「将来の養父市」を考える時間となりました。



養父市の将来について、児童一人ひとりの意見に耳を傾けられました。